

陸前高田市議会議長 福田利喜 様

会派名 日本共産党陸前高田市議団

代表者職氏名 団長 藤倉泰治

### 政務活動概要報告書

政務活動費に関する取扱要綱第6条第2項の規定により、令和3年度政務活動の状況について報告いたします。

#### 記

#### 1 調査研究事業

(1) 福島第一原子力発電所アルプス処理水海洋放出問題の現地調査

内 容 アルプス処理水海洋放出問題で、広田湾漁協を訪問し実態調査を行った。

日 時 令和3年5月25日(火) 午前10時～11時

場 所 広田湾漁協・会議室

出席者 砂田光保組合長、村上参事

(調査団) 藤倉泰治、大坪涼子、伊勢純

(2) 日本共産党国会議員の沿岸漁業現地調査

内 容 アルプス処理水の海洋放出撤回を目指し、陸前高田市の現状と課題、国への要望について、高橋千鶴子衆院議員が来市し、広田湾漁協、陸前高田市長を訪問し、調査と懇談を行った。

日 時 令和3年7月30日(金) 午後2時30分～午後4時

場 所 広田湾漁協、陸前高田市役所

①広田湾漁協 村上参事

(調査団) 日本共産党高橋千鶴子衆院議員(党衆院議員団長)、藤倉泰治、大坪涼子、伊勢純

②戸羽市長

(調査団) 日本共産党高橋千鶴子衆院議員(党衆院議員団長)、藤倉泰治、大坪涼子、伊勢純

(3) 日本共産党県議会議員団の新型コロナウイルス対策に係る現地調査

内 容 新型コロナウイルス感染症による市内の事業者への影響の調査とともに、陸前高田市の先進的な事業者支援について調査懇談を行った。

日 時 令和3年9月29日(水) 午前10時～11時40分

場 所 陸前高田市役所

出席者 戸羽市長

(調査団) 日本共産党県議団 斉藤信県議、千田美津子県議、藤倉泰治、大坪涼子、伊勢純

懇談の内容 新型コロナ対策で、いち早い調査と支援金交付の取り組み、国保  
税子ども均等割免除、公営住宅家賃の市独自の軽減策について、調  
査と懇談を行った。

(4) 被災地の調査について日本共産党：志位委員長、岩淵友参院議員と戸羽市長とのオンライン会談

内 容 東日本大震災11年を前に現地調査として、コロナ禍のもと、志位和  
夫委員長と戸羽太市長とのオンライン会談、戸羽市長と市議団の懇談

日 時 令和4年2月18日（金）午前11時～11時50分

場 所 市役所会議室

会談の内容 戸羽市長から復興状況や課題、要望を受ける／戸羽市長は最大の  
問題として、高濃度の放射性物質トリチウムを含むアルプス処理水  
の海洋放出を挙げました。県内漁業者への十分な説明がないこと、  
海洋放出以外の方策の検討課題も示されていないことが戸羽市長  
から話された／県沿岸の被災自治体でつくる「岩手三陸連携会議」  
は現行の処理方法には一致して反対する方向の報告も受けました  
／また、文科省が全国の小中学校や高校に配布している「放射能副  
読本」に政府が作成した処理水を「安全処分する」などと書かれた  
チラシが入っていた問題について、沿岸自治体で配布中止で一致し  
ていることも報告がありました／志位委員長は、政府の姿勢を国会  
でただすと話し、トリチウムの分離は理論的に可能だとして、処理  
水の海洋放出について、福島県だけの問題ではなく沿岸全体の問題  
として国に強く訴え、特に、海洋放出に代わる新たな処理・保管方  
法を科学的な英知を集めて見出すこと、そうした取り組みなしに処  
理水海洋放出は許されないと表明された。さらに、貝毒被害や不漁  
の海洋環境変化の影響に加え、漁業が苦戦すると観光も何も全てが  
だめになり、第1次産業の立て直しが生命線なので、国が農漁業の  
将来ビジョンを示すことの要望もあった／第1次産業については、  
欧州に比べ生産費への補助がはるかに薄いこと、必要な価格補償、  
所得補償を適切に行う政策の大転換が必要と強調された。また、被  
災者の心のケアの継続や地域コミュニティの形成への国の支援を  
国に求めていく考えも示された。（午前11時～11時30分）

## 2 研修事業

(1) 東日本大震災10年のつどい

内 容 「震災から10年の総括と地域の将来を語る」がテーマの集会に参加  
し研修した。

日 時 令和3年4月25日（日）午後1時～午後3時15分

場 所 陸前高田市民文化会館・奇跡の一本松ホール

主 催 東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議／岩手地域総合研究所

研修内容 シンポジウム

シンポジストとテーマ

阿部勝さん（陸前高田市地域振興部長）

「震災復興事業にかかわる地方自治体と自治体職員の役割」

熊谷正文さん（㈱高田松原代表取締役社長）

「地域振興における道の駅の役割」

宮本妃菜さん（ロッツ㈱心理相談員）

「このまちに“居る”ということ」

コーディネーター 井上博夫さん（岩手地域総合研究所理事長）

参加者 藤倉泰治、大坪涼子、伊勢純

### 3 要請・陳情活動

#### (1) 日本共産党気仙地区議員団の第3次気仙2市1町首長への申し入れ活動

内容 新型コロナウイルス感染症対策について、戸羽太陸前高田市長、戸田公明大船渡市長、神田謙一住田町長に申し入れ書を提出し、懇談を行った。

日時 令和3年4月27日（火）午後1時～午後4時30分

場所 陸前高田市役所、大船渡市役所、住田町役場

参加者 藤倉泰治、大坪涼子、伊勢純、滝田松男大船渡市議会議員、山本和義大船渡市議会議員、佐々木春一住田町議会議員

#### (2) 気仙町月山団地の要望活動

内容 月山団地のうち三陸道沿いの11世帯の騒音対策要望書の提出と要望活動に参加した。三陸道開通に伴い昼夜の騒音に悩まされていることから、要望書を国道大船渡維持出張所長と陸前高田市舟波副市長に提出し、実情を訴え対策を求めた。

日時 令和4年1月5日（水）午後1時30分～午後3時

場所 国道大船渡維持出張所（大船渡市立根町）、陸前高田市役所副市長室

参加者 藤倉泰治

#### (3) 日本共産党気仙地区議員団の第4次気仙2市1町首長への申し入れ活動

内容 新型コロナ感染症対策について、戸羽太陸前高田市長、神田謙一住田町長に申し入れ書を提出し、懇談を行った。

日時 令和4年2月8日（火）午前10時～午後3時30分

場所 陸前高田市役所、住田町役場

参加者 藤倉泰治、伊勢純議員、佐々木春一住田町議会議員

### 4 広報事業

#### (1) 議会報告の広報紙の発行

内容 日本共産党発行の「陸前たかた民報」の中に定例会等の議会報告を特集して掲載し、各戸に配布した。

発行回数 3議員それぞれ年4回発行した。